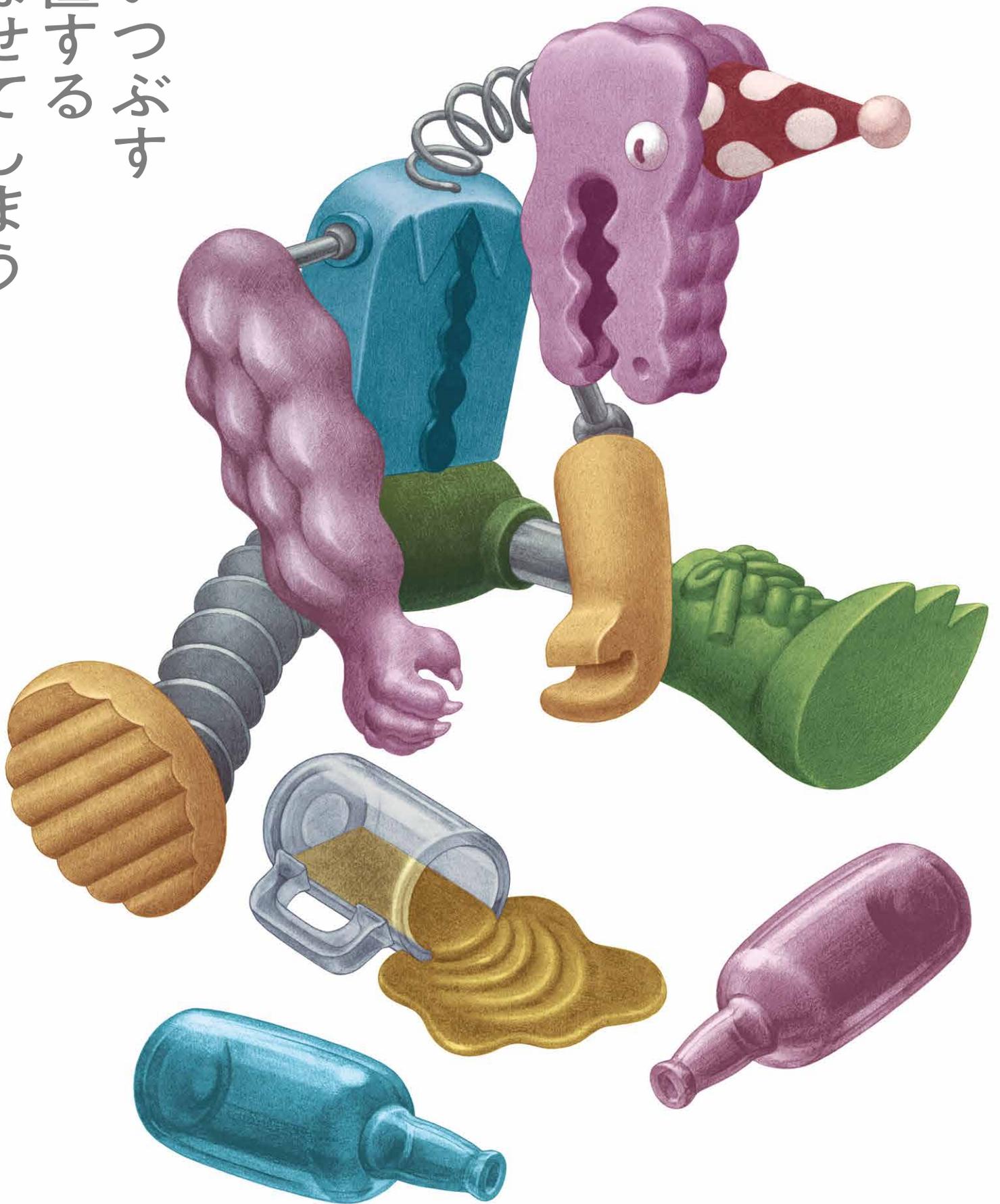


酔いつぶす
放置する
死なせてしまう



2017年に大学2年の男子学生が、サークルの飲み会で短時間に大量に飲まされ死亡した事件で、上級生たちが過失致死罪で略式起訴され、有罪になりました。酔いつぶしたことを認識しながら救急車を呼ばず、友だちの部屋に運んで保護したつもりだったようです。酔って意識がない状態で人目につかない場所に放置すると、亡くなってしまうこともあるのです。遊び半分で酔いつぶして、人の命を玩具のように扱うのはやめてください。

もう誰も被害者にも加害者にもしたくない。

酔いつぶれた人の命を救うために。

学生の飲み会では、つぶれる人が出ることを前提にしたケースが多くみられます。部やサークルの伝統で、イッキ飲ませが当たり前になっていたり、アルハラも行われています。今まで大丈夫だったから、これからも大丈夫とは限りません。人の命を奪うような飲み会かどうか、もう一度見直す勇気を持ってください。そして危険だと思ったら、迷わずに救急車を呼んでください。



※横向きに寝かせても放置はせずに、必ずつきそって様子を見よう！
長時間横向きにしていると下になった部分の血液循環が悪くなるため、約30分おきに体を反転させよう。

すぐに救急車を呼ぶべき状態

- ・大イビキをかいてギュッとつねっても、反応がない。
- ・ゆすって呼びかけても、まったく反応がない。
- ・体温が下がり全身が冷たくなっている。
- ・倒れて口からアワをふいている。
- ・呼吸が異常に早くて浅い。時々しか息をしていない。

「酔い」のメカニズム4段階

- 1 ほろ酔い（気持ちがほぐれる）**大脳新皮質がマヒ。**
いい気分でも**油断禁物！**
- 2 酩酊（足元がふらつく）**大脳辺縁系にマヒが及ぶ。**
もう飲むのは**ストップ！**
1、2の段階になったら、周りの人たちが飲み過ぎるのを防いであげるようにしましょう。
- 3 泥酔（酔いつぶれる）**脳全体がマヒし脳幹、脊髄にも及ぶ。**
- 4 昏睡→死（何をしても起きない）
マヒが脳幹・脊髄・呼吸中枢のある延髄に至る。
3と4の段階は、急性アルコール中毒の状態。酔いつぶれた人には「適切な介抱」が必要！

飲み会主催者・参加者の「5つの責任」

- 1 **アルハラは無くすべし**
飲酒にまつわる嫌がらせ・人権侵害をしない。飲めない人への配慮として、ノンアルコール飲料を用意する。
- 2 **吐く人を出さべからず**
「吐けば大丈夫」という考えは非常に危険である、と認識すること。
限界以上に飲ませないように心がける。
- 3 **酔いつぶれた人が出たら、介抱し、保護するべし。**
決して放ったらかしにしてはいけない。救急医療に連絡するなどの対応をとること。
- 4 **未成年に飲酒させるべからず。**
法律で禁止されている。20歳未満は身体が未発達なため、飲酒による影響が大きいということを忘れないこと。
- 5 **車を運転する予定の人に飲酒させないこと。**
飲酒した人はもちろん、勧めた人も法的に罰せられる。
飲酒運転が惨劇を生み出すことを理解すること。

◎アルハラとはアルコールハラスメントの略。飲酒にまつわる嫌がらせ、人権侵害です。



サイトで「酔いのメカニズム」を解説。イッキ飲ませやアルハラの情報も。

イッキは命にかかわる飲ませ方です。



イッキ飲み防止連絡協議会 後援：文部科学省 / 厚生労働省 / アル法ネット

協力：全国大学生生活協同組合連合会 協賛：ビール酒造組合 / 日本酒造組合中央会 / 日本蒸留酒酒造組合 / 日本洋酒酒造組合 / 全国小売酒販組合中央会 / 日本洋酒輸入協会 / 白子町温泉ホテル協同組合 / 株式会社コーキャンパス / 株式会社毎日コムネット デザイン協力：サントリーホールディングス株式会社 / 株式会社サン・アド